



・発行日 52・1・31
 ・発行 岡崎市AVL
 ・編集 広報委員会

新任の先生みごと入選

愛知県自作TPコンクールで

愛知県教育サービスセンター主催の第四回自作TP作品募集には、岡崎市からも多数の方々が応募された。年々、質の高い作品が多くなる中で、次にあげる先生方が入選された。

入選	中根 洋	(矢北小)	理科五年
	金沢喜久雄	(〃〃)	〃三年
	佐々木公彦	(〃〃)	体育五年

中でも新任の金沢・佐々木(矢北小)の両先生が入選されたことは、昨年の柴田先生(梅園小)に次ぐ快挙である。若い先生の熱意が感じられ頼もしい限りである。来年も奮って応募されることを期待したい。

〈視聴覚研究サークルの動き〉

水越敏行先生の講演をもとに討論会

去る十二月八日(水)水越先生を囲んで指導会を終えたが、岡崎市の現状をふまえて、先生のご指導をどのように受け止めるか、これは、現職教育視聴覚部の来年度大会へ向けての大きな問題であると思ふ。

さつそく、この講演会を中心に研究サークルが持たれ、放送教育の基本が、話し合われた。その主な内容を紹介すると、

放送利用学習と放送学習とにかかわることがらに論議が集中した。教科別でそれぞれ異つてもいいのではと、水越先生の話の中で言われているが、学年によつても、その学習のあり方は変つてくるとも言えるし、分断利用かまるごと利用か、継続か選択か、で分けられるのか、両方ともやりうるような教科は、どちらの学習になるのか。等、夜遅くまで話し合いがおこなわれた。

今後、回を重ねるごとに放送教育についての話し合いを深めていきたいと思つている。

有志の方の多数の参加をお願いします。
 連絡は世話係(三島小 牧野、南中 石川)まで。

自作視聴覚教材コンクールに

三部門。七作品を応募

昭和五十一年度、愛知県自作視聴覚教材コンクールへの応募は、去る一月十四日にべ切られたが岡崎から、ビデオ部門五点、スライド部門、八ミリ映画部門に各一点、計七点の応募があつた。どれをとつてみても、力作ぞろい、制作者の意欲が作品ににじみ出ている。

応募作品は次の通りである。

学校教育部門

〈スライド〉

「問屋と市場・石材工業」岡崎社会科サークル

〈ビデオ〉

「国道一号線」視聴覚ライブラリー自作委員会

「Joyful English」Issae girl playing tennis

英語部視聴覚研究サークル

「わたしたちの体力づくり」

井田小学校

「パジャマのできるまで」技術・家庭科部会

社会教育部門

〈八ミリ映画〉

「鬼まつりを演ずる人々」

常盤小学校

〈ビデオ〉

「岡崎市制六〇年の歩み」SAT製作委員会

白井正壮先生（常小）の授業をテレビで紹介

去る一月六日、名古屋テレビで放映された「親と子と」の番組は、常盤小学校の白井正壮先生の授業が紹介された。一年生の子どもたちが、校庭でのびのびと、園工の学習をしている様子を十五分間にわたつて収録したものである。

学校だより―大樹寺小学校―

去る一月十三日、指導員の先生をお迎えしてテレビ、映画、G5等、いろいろな機器を使った授業のご指導を受け、今更のように使うことより、使いこなすことの難しさを感じさせる反省会でした。本校も互方式になつておりますので、将来はカメラなどの購入により、テレビ放送の活用を期し、学習、生活に役立てたいと思つています。有意義な一日だったと思います。（8生）

○ライブラリーだより○

ライブラリーでは、学校放送番組のほか、一般教養番組の中で現職教員等に利用できる番組も録画しております。ぜひご利用ください。くわしいことは、電話でお問い合わせを。